

全体研究主題

深い学びを実現する授業づくり（2年研究の1年次）

～見方・考え方を促す手立ての追究～

保健体育科（体育分野）研究主題

運動有能感に着目した「遊び」のある体育学習

期日・会場 令和元年6月21日(金) 千葉大学教育学部附属中学校

時程及び内容

○授業展開1 (10:05～10:55)

1年 体育理論(1年C組)

指導教諭：藤原 修一

“考える”に挑戦

～運動のメカニズムを議論する～

1年次にはスポーツの多様性について学習します。中学校3年間で扱う運動について、運動の特性や技術の視点からアプローチします。ICT機器を活用し、課題となる運動についてその構造的特性を中心に検討する中で、生徒が見方・考え方を働かせる授業を目指します。

3年 バスケットボール(アリーナ)

指導教諭：車塚 祐太

Let's “play” basketball

～ゲーム局面から考えるゴール型球技～

1, 2年次に学習したゴール型球技の集大成として行います。ゲームの局面構造を理解したうえで、ゲームを展開していきます。ICT機器を活用し、分析や考察を重ね、生徒がチームの課題を発見し、主体的に課題の解決に向かう授業を目指します。

○授業展開2 (11:10～12:00)

2年 柔道(プレイホール) 指導教諭：高橋 愛

見せずに“観せる”柔道

ICT機器を活用した柔道の授業を行います。見本となる動画を元に、タブレット端末上で自身の動きと見本を比較・検討することで、基本技能の習得につなげます。個人が持っている課題をグループ内で共有し、互いの関わりを通して課題を解決できる、生徒主体の授業を目指します。

○教科分科会 (13:10～14:40) 指導助言者：千葉県教育委員会 相澤 伸也 先生

共同研究者：千葉大学教育学部 佐藤 道雄